



# 8月

# 保育室 すまいるだより

2019.8.1 NO.31  
保育室 すまいる

## <月のテーマ：ゆったりと>

### 年齢別 月の保育のねらい

#### <1歳児>

- 歌やリズムに合わせて体を動かすことを楽しむ。
- 見たことや感じたことを自分なりの表現で伝えようとする。

#### <2歳児>

- できた喜びを味わいながら、身の回りのことを意欲をもってやろうとする。
- 踊ったり、リズム体操をして体を動かして表現することを楽しむ

#### <3歳児>

- いろいろな友だちとの触れ合いを楽しむ。
- 保育室内外で経験したことを話したり、聞いたりする。

#### <4歳児>

- 夏の暑さに負けず、しっかりと身体を動かして遊ぶ楽しさを知る。
- いろいろな素材を使い、製作する楽しさを知る

#### <5歳児>

- 遊びを通して科学の面白さに興味を持つ。
- 友だちとイメージを共有しながら製作を楽しむ。

#### <学童>

- いろいろな学校、いろいろな学年の友だちと関わる中で、自分を知る。



#### <8月の歌>

あんまり  
そらが あおいので

### <かるた遊び>

小学校が夏休みに入り、学童の子どもたちが朝から一緒に活動するようになって、保育室すまいるは、パワーアップしています。二週間たった8月1日(水)、お互いが見合いながら過ごす期間から、自分の意見を主張できるようになってきた子どもたち、今日は朝からかるた遊びをはじめめるグループがありました。

一つのかるたのシリーズが終わり、二つ目のかるたを始めたその時に、泣き声・・・訴える声・・・「おてつきなして、いったじゃない」「いってることと、ちがう・・・」「きけばよかったでしょ」「だって、僕のクラスでは、いいことになっていたから・・・」「Kくんとは、違う学校だし、違うクラスだし、やり方が違うんだよ」「最初に、きけばよかったじゃない」まずい様子になってきたことを感じて、その場から去ろうとしたMちゃん、「Kくんが泣いていて、泣き止んでないから、解決するまでは、一緒にいないと・・・」というSの声に、前にいた場所に戻って話を聞く体制になったMちゃんでした。自己主張できたKくん、少し冷静になってきて、Kちゃんの話している内容に耳を向けることができ、「僕が間違っちゃったから・・・」「まちがったときは、ごめんなさい、だよ」Kちゃんがいったように、みんな、違う幼稚園や保育室、違う学校、八幡小学校や立町小学校、学年もクラスも違うから遊びのルールも違うんだよね。聞けばよかったじゃない・・・といわれても、みんな同じと思っていたら聞けないしね。かるた始める前にルールを確認すればよかったね。でも、最初は大丈夫だったよね? どうしてこうなっちゃった? 「最初のかるたは、ルールが書いてあったからよかったんだけど、このかるたはなかったから、ルールを変えたんだ。だからだ・・・」「そうか、ルールを確認すればよかったね。」「ルールを確認してから、スタートしてください」

ルールを確認して、遊びは再びスタート、お互いに主張し合えたから、わだかまりがなくすっきりしたようでした。

いろいろな学校、いろいろな学年の友だちと遊ぶ中で、ルールの違いを知った子どもたちでした。この夏休み期間に、お互いの違いにどれくらい気づいて、理解し合うことができるか、たのしみです。